平成22年度　決算説明書／事務事業評価シート

部局名	保健福祉部
課室名	健康推進課

予算	款	項	目	決算書	
	4	1	2	130	頁

目　　名
予防費

事務事業名称
健康づくり増進事業

1．概要

目的	一人ひとりが健康づくりを進められる環境をつくる	対象	20歳以上の市民

事業概要

○健康増進事業
・健康手帳の作成～40歳になられた方、検診をはじめて受けられた方に対し交付　775冊作成
・①健康教育の実施②健康相談の実施③健康診査の実施④訪問指導の実施
健康診査～被保護世帯等分、骨そしょう症検診分

○がん検診事業
・胃がん検診；40歳以上の男女対象、受診者2,885人　（17.5%）
・肺がん検診；胸部レントゲン検査（二重読影）；40歳以上の男女対象、受診者6,103人（３７%）
・大腸がん検診；便潜血反応2日分検査、40歳以上男女対象、受診者4,473人（２７．１%）
・子宮がん検診；20歳以上の女性対象受診者2,227人（２１．２%）
・乳がん検診；20歳以上の女性対象　受診者1,960人（２１．２%）

○女性特有のがん検診事業
①子宮がん（20・25・30・35・40歳）②乳がん（40・45・50・55・60歳）対象　（※　国庫1/2補助）

臨／経	事　業　名	事業内容（主な経費等）		予算現額（千円）	決算額（千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	健康増進事業（補助事業）	①３１２回（3,467人） ②680回（2,664人）	委託料	3,991	3,501	1,354			2,147	3
経常	がん検診事業	各種がん検診委託料	委託料	51,578	51,176				51,176	3
臨時	女性特有のがん検診事業	①200人 ②291人	委託料	3,385	2,791	2,165			626	3
計				58,954	57,468	3,519	0	0	53,949	

２．指標設定

成果指標	指標名	受診率の向上	目標年度	H27	指標の設定理由
	数値	50%			がん対策基本法に基づき国が平成19年度から平成23年度までの5年間を対象として目標に掲げているため

活動指標	指標	a	アンケート実施	b	広報	c		d	
	数値	目標	年1回	目標	年1回	目標		目標	

３．実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２
受診率の向上	%	19.2 %	21.4 %	25.4 %
		38.4 %	42.8 %	50.8 %

活動指標名		単位	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２
a	アンケート実施	回	1 回	1 回	1 回
			100.0 %	100.0 %	100.0 %
b	広報	回	1 回	1 回	1 回
			100.0 %	100.0 %	100.0 回
c					
d					

４．課題と対応

課題
40代～50代の働きざかりの受診率が低い
対応（改善点等）
企業等に働きかける、普及啓発を図る

５．事業費・・・Ｈ２０～Ｈ２２（決算額）、Ｈ２３（予算現額）

決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		42,839	49,304	57,468	66,394
	うち経常経費	41,459	38,594	54,677	61,424
財源内訳	国費		4,360	2,165	2,485
	県費	1,380	1,252	1,354	1,289
	市債				
	その他				
	一般財源	41,459	43,692	53,949	62,620
	うち経常	41,459	38,594	53,323	60,135
事業費に係る人件費		4,245	4,267	6,570	6,450

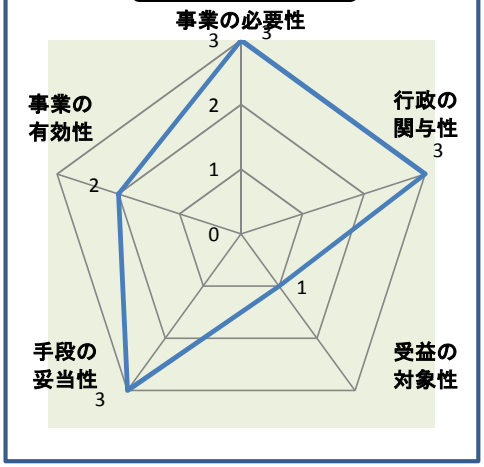
６．H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
受診率向上を図るため、啓発活動の必要性があるため

７．担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	豊後大野市の課題である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	がん対策が国の重要課題となっている（がん対策基本法）
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1	市民に知られているが十分でない
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	有効な手段と思われる
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2	受診率が低いため

分析グラフ



８．内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	受診率の向上を目指すとともに、医療費の抑制につながるよう努めること